

公益財団法人まちみらい千代田
第8期第1回評議員会 議事録

1 日時

令和2年8月24日(月)午前10時～午前11時35分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 5階502会議室

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(8名)

鈴木潔(会長)、鎌倉勤(副会長)、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、高山肇、山本久喜、脇宗一郎
[欠席者] 谷真理子

※熊谷エイ評議員は、議案第1号および第2号の審議中(午前11時30分)に退席した。

(2) 理事(2名)

立川資久(理事長)、高橋誠一郎(副理事長兼事務局長)

(3) 監事(1名)

渡邊牧文

(4) 事務局(3名)

加藤英明グループマネージャー(以下GMという。)、伊澤優GM、佐波玲子GM

5 議題

[決議事項]

(1) 議案 第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期事業報告(案)について

(2) 議案 第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期決算(案)について

6 開会、理事長あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。定款第25条により、評議員会の議長を務める鈴木会長が開会を宣言し、立川理事長にあいさつを求めた。立川理事長はあいさつの中で、第7期に取り組んだ事業の概要について、報告を行った。

次に議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の鎌倉評議員(副会長)と山本評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議案の審議に入った。

7 議事の経過および結果

(1) 議案 第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期事業報告(案)について

(2) 議案 第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期決算(案)について

議長から議案第1号および議案2号については、関連があるため、一括して審議を行いたい旨の提案をしたところ、全員異議なく了承した。

はじめに、各GMから担当事業の詳細について、報告を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、加藤GMが報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、伊澤GMが報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、佐波GMが報告を行った。

次に高橋事務局長が第7期決算(案)の財務状況や執行状況について、報告を行った。

議案の審議に先立ち、渡邊監事が監事監査(令和2年7月10日実施)の結果について、決算資料が正確であり、また、理事の業務も適正に執行されている旨の報告を行った。

議長が議案第1号および議案第2号を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。なお、審議の中で以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

まちみらい千代田のマンション支援制度は多岐にわたるが、管理会社やマンション管理組合の役員はどの程度この制度を把握しているのか。制度を周知する機会である「管理会社との連絡会」が中止となったのは残念に思う。管理会社が制度を把握していないとマンション管理組合に提案ができないと思うので、周知の機会・方法を検討してほしい。

(事務局)

「管理会社との連絡会」は当初2月29日に開催を予定していた。しかし、新型コロナウイルスの感染が拡大し、それに伴う区のイベント等の開催状況を踏まえて、中止とした。提案いただいたとおり開催方法等を今後検討する。

(評議員)

「まちづくりアドバイザー派遣」で住宅金融支援機構と連携協力協定を締結したことは良いことだと思う。なお、実際に相談に対応するのは派遣されたアドバイザーになるため、事務局は同機構の支援制度の把握に努めてほしい。それをアドバイザーに伝えることで、アドバイザーがマンション管理組合への的確にアドバイスを行うことができる。

(事務局)

同機構の支援制度の把握に努める。

(評議員)

千代田まちづくりサポートの普請部門で助成を決定した「神田珈琲園」再生プロジェクトチームは非営利団体なのか。自主的なまちづくり活動を行っている団体が助成の対象となる中で違和感がある。

(評議員)

普請部門では、どのような活動が助成の対象となるのか説明してほしい。

(事務局)

普請部門では、千代田区において地域のまちづくり活動の拠点づくりや歴史的建造物・地域の小スペースなどを活用した造作を伴ったまちづくり活動に対して助成を行っている。神田珈琲園を運営するのは営利法人だが、建物の一部を地域のコミュニティスペースとして開放することになっており、その提案は審査基準をクリアし、助成の対象となった。

(評議員)

テーマ部門は近年応募がないので、4つある部門の見直しを行ってもいいのではないか。

(事務局)

必要に応じて見直しを検討する。

(評議員)

「再開発・共同建築等推進組織に対する助成」に関する事で、現在、マンション共同開発等の案件は新型コロナウイルスの感染拡大により、その検討が進捗しない状況にある。そのような中でアドバイザーの関わり方がとても重要になる。助成上限額年間50万円は妥当なのかということもあるが、事業報告書の評価等に記載のとおり、今後このような案件が増加することが想定される。住宅を含む再開発や共同建替えをする団体が、スムーズに検討を進められるように積極的に取り組んでほしい。

(事務局)

意見を参考に事業を推進する。

8 閉会

以上をもってすべての議事を終了したので、午前11時35分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長および評議員がこれに署名、押印する。

令和2年8月24日

公益財団法人まちみらい千代田
第8期第1回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 鎌 倉 勤 ⑩

議事録署名人 山 本 久 喜 ⑩